

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	オルタナブレイス八幡			
○保護者評価実施期間	R8年3月9日		～	R8年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	R8年3月9日		～	R8年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童・生徒の力を活かす多様なプログラムの提供	5種類のグループ活動(クラブ活動;ものづくり・アート、運動、パソコン、ボードゲーム、クラブQ)を設定し、日替わりで2つのクラブ活動を行っている。活動内容はその日の利用者の状況を踏まえて難易度を調整し、すべての利用者がどちらかの活動に参加できるようにしている。	利用者の状況(個人の成長、メンバーや関係性等)は常に変化するため、各クラブ活動において、担当者を中心に全員で活動内容を検討していく。 また「体験の幅を広げる」という事業所の支援の方針に基づき、未経験の活動にも参加したいと思わせるような工夫を行う。
2	保護者への情報提供	連絡帳アプリでのメッセージ機能や資料の共有機能を使用し、必要事項の随時の説明を行っている。 日々の活動内容の報告については、その日の業務分担(送迎、専門的支援等)を考慮して、自由活动・クラブ活動それぞれの様子を報告できる業務分担を行っている。	メッセージが既読にならない保護者に対しては再度の連絡を行って確実に情報を提供することを心掛けるとともに、必要事項は年度毎の連絡を行うようにする。
3	SNSを活用した情報発信	年に4回発行の広報誌に加え、日々の活動の様子についてもSNSを用いて積極的に情報発信を行っている。	SNSの機能は随時更新されているため、そうした変化にも対応してより充実した情報発信を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性の向上	昨年度から、新規採用職員の早期退職が続いている。	応募者に対しては、直接支援(子どもとの関わり)以外の業務内容について丁寧な説明を行い、「入社後ギャップ」の軽減を図る。 入職後はメンター制度を導入し、勤務にあたっての疑問や不安を表明しやすい環境を作る。
2	保護者および家族(きょうだい等)の交流の機会の提供	今年度は、保護者会や家族レクといった活動を実施できなかった。	来年度の年間計画を作成し、予め周知することで実施を目指す。
3	保護者の事業所に対する要望の把握 (保護者評価では具体的な意見が少なく、改善策の検討が難しかったため)	個別支援計画見直しのための面談時に、支援に関する保護者の希望を尋ねているが、評価項目全般に関する意見や要望は確認できていない。	面談時に、支援計画に記載する保護者の希望だけでなく、より包括的な要望を聞くようにする。 事業所評価とは別に、匿名で意見・要望を尋ねるアンケートの実施も検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 オルタナブレイス八幡

公表日 2026年3月20日

利用児童数

回収数 : 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	0	0	・ 尾てい骨を打った時は、もう少し周りを見て安全かどうか確認して遊んでほしいなと思いました。(施設に不満というわけではありません) ・ 工夫して活動を企画していただいていると思います。 ・ 狭いとは感じる、その分外遊びがあるからいいのかな	・ 1階のプレイルームは、室内活動に必要な面積は確保していますが、個人での活動や体を動かす活動にはやや不足することがあります。そのため、相談室や事業所の駐車場、地域の公園等を積極的に活用します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	1	2	・ 学校などで大人の目が届かないと、トラブルが起きてストレスを抱えて帰ることが多いのですが、そういった話はほとんどなかったし、ただ楽しいだけの場所、と言っています。 ・ 少ないと感じる	・ 待遇面や資格要件等の状況により、業界全体として人員確保が課題となっています。理想としては、児発管に加えて児童指導員/保育士4名体制で支援を行うことを目標とします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	0		・ 引き続きよりわかりやすい環境づくりに取り組みます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	1		・ 引き続き清潔で心地よく過ごせる環境づくりに取り組みます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	3	0	0	・ 学校や病院よりもきちんと理解してくださっているように思います。 ・ きめ細かく事業所での様子を教えていただき、自宅でも参考になります。 ・ 以前よりいいが、子供がトラブルになった時に味方してもらえないとよく聞く。一部のスタッフなので言いやすい、言いにくいの違いがあるんだろうなと感じる。	・ 専門性のある支援を提供するための研修やミーティングを随時行うとともに、スタッフ各自が自己研鑽に努めます。 ・ 利用者同士のトラブルに対応する際は、スタッフは中立的な立場で関わっていますが、そのことが利用者の不信任感を招かないような対応のあり方について、スタッフ間で検討します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	2		・ 実際の支援内容を踏まえて支援プログラムを作成していますが、表現に分かり難い点はなかったか見直し、修正の必要性を検討します。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0	・ 今年度は面談がありませんでしたが、来年度以降も面談は行わないのかが、分かりません。	・ 来年度は支援計画見直しに遅れないよう努力いたします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	1		・ 「本人支援」に関しては、成長につながる具体的で実施可能な支援内容を設定することを心がけます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		・ 常に支援目標を意識した支援を行うよう努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	0	・ 固定化はされていないと思いますが、子どもの遊ぶプログラムは割と同じもののように思いますが、本人的にも不満はないし、特にこちらとしても不満はありません。 ・ 特に他事業所より秀でていると思います	・ スタッフ全員で意見を出し合っってプログラムを検討するとともに、各利用者が多様な活動に参加するような働きかけを行います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	3	2	7	・ 日常的に交流はあるので必要ない。	・ 利用者全員が学区内の小中学校や児童館に通っているため、当事業所でのプログラムに取り入れる予定はありません。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	・ 説明されているように思いますが、わからないことも多くご迷惑をおかけしております。	・ 引き続き丁寧な説明を心がけます。	

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		・保護者との面談後に作成した計画の配布時に、面談時に説明していなかった事項について説明します。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	0	1		・保護者の勉強会として「でこぼこワークショップ」を開催していますが、今年度は参加希望者が少なく延期となりました。2026年度は複数回の開催を目標とします。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0		・いつもこちらからも情報共有をしたいと思いますのですが、忙しく、出勤するとスマホで連絡することが難しい環境のため、なかなか連絡が遅くなってしまふことが多く、申し訳なく思っています。	・連絡帳アプリを使って利用日の様子の連絡を頂いていますが、それ以外の日でも随時保護者からの連絡は受け付けていることを周知します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0		・個別支援計画の見直し時に面談の機会を設けています。それ以上の定期的な支援は難しいため、随時の対応を致します。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		・保護者の方と異なる見解を伝えることもあるため、共感されていないと感じる方もいるかもしれません。誠実に事業所としての見解を伝えると同時に、共感的に関わることを心掛けて参ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	11	1	1	3		・保護者への支援はあります	・今年度の保護者会は参加できる方が少なく延期となりました。来年度は参加しやすい日程についてのアンケートを行うなどして、多くの保護者の方に交流して頂けるよう努力いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	0			・今後とも丁寧な対応を心がけます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0			・個別かつ抽象的な設問のため、具体的な要望があれば対応を検討します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0			・SNSを活用し、季節毎の広報誌の発行や日々の活動の様子を発信します。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0			・今後とも個人情報の保護には充分留意するよう心がけます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	2			・連絡帳アプリの資料室で公開していることの周知に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	3			・年に2回、主に地震を想定した訓練を行い、訓練の様子は保護者全員に報告しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	1			・連絡帳アプリの資料室で、安全計画を公開します。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	1		・これについても何かがや事故などがあって様子をみていて悪化してしまうのは怖いので、これからも速やかな連絡とお迎えの要請で構いません。どうぞよろしくお願いいたします。	・速やかな連絡と丁寧な説明を心掛けて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0		・安心してのびのび過ごし、大きく成長しています	・利用時の様子を見守り、ご利用者が安心して過ごせる環境を作ることに努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0			・活動を楽しめていない様子が見られた時は、その時々々の興味や関心などをご家族に伺い、プログラムに取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	1		・親だけではできなかった子どもへの支援をしていただき、親子ともに育てていただいています。	・保護者の方のご要望を伺いながら、より質の高い支援を行うよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		オルタナブレイス八幡		公表日		R7年3月21日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用者の状況を見ながら、ブレイルームに加えて相談室等を活動の場として活用している。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	2	・設置基準+1名の人員を確保している。	・制度的には適切な範囲だが、スタッフの法定休暇取得の機会を確保するためには、常勤5人体制を目標とする。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	0	・大画面モニタを利用したスケジュール掲示や、活動選択時のボードの利用などの視覚的支援を行っている。 ・建物の構造上、階段は避けられない。必要とする利用者はいない。	・左記内容を継続する。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	0	ブレイルームのマットが劣化したため、張り替えを予定している。	・環境整備に注意が足りていないことがあるため、。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	0	・1階のブレイルームとは別に、2階の相談室や準備室を使用している。	・左記内容を継続する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・朝の全員での打ち合わせ時に、随時改善が必要な事項を協議している。	・左記内容を継続する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・事業所評価公表後に、全職員が参加して内容を共有する研修会を行っている。	・左記内容を継続する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・朝の全員での打ち合わせ時に、随時意見を把握している。	・左記内容を継続する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	・特になし。	・費用が高額であるため、評価を行う予定はない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・年間研修計画を立てて研修を実施している。	・外部研修の機会を増やしたいが、義務化された内部研修の実施が優先となるため不十分。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・これまでの活動実績に即したプログラムを作成、公表している。	・左記内容を継続する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・保護者との面談は、1時間の時間を確保している。	・左記内容を継続する。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・全員参加でモニタリングと計画策定会議を行っている。	・左記内容を継続する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	・実績記録表と個別支援計画書を1冊のファイルで管理して閲覧できるようにしている。	・計画を立てて実施できていない項目があるため、随時実施状況を確認するようにする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・インフォーマルなアセスメントは、日々行っている。	・当事業所の利用者に適した、使用するために過度な負担がないフォーマルなアセスメントが見つけられていない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・地域特性を活かして、地域の行事等に積極的に参加する目標を設定している。	・引き続きこれらの支援内容を組み込んだ個別支援計画を作成する。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・当日の利用者の年齢やスキル等を考慮して、活動内容の難易度等、打ち合わせ時に話し合っている。	・スタッフの異動が多く、負担が偏りがちだった。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・5種類のグループ活動プログラムを「クラブ活動」として設定し、日替わりで2種類のクラブ活動を行っている。	・同上。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・自由時間中の個別活動、グループ活動であるクラブ活動の双方を支援計画に取り入れている。	・左記内容を継続する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・当日の利用者の能力や関係性等を考慮して、活動内容の難易度や留意事項等、打ち合わせ時に確認している。	・左記内容を継続する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・送迎業務もあるため、当日に振り返りが難しい場合は翌日に共有している。 ・当日の共有が難しいスタッフがいた場合は、必ず次の打ち合わせで共有している。	・支援終了後の振り返りが翌日になってしまうことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	・システム上で記録を行い、利用者名やプログラム名で日時を検索できる。	・口頭での共有に留まり、記録が不十分なことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・スタッフ全員が参加してモニタリングを行っている。	・左記内容を継続する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	0	・「地域交流の機会の提供」に関して、地域の福祉施設での催しや、大崎八幡宮の行事に積極的に参加している。	・左記内容を継続する。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・放課後のグループ活動は、2種類の活動から選択できる。	・左記内容を継続する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・会議への参加の前に事前に職員間で、該当利用者の状況等共有している。	・左記内容を継続する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・必要に応じ、相談支援専門員とも連携しながら対応を行っている。	・左記内容を継続する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・年間計画は、各校のホームページで確認している。その他事項については、基本的には保護者を通じて連絡を取っているが、当日の送迎時間の変更等は学校と直接やりとりをしている。	・左記内容を継続する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	・必要であれば随時行う体制はある。	・左記内容を継続する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・該当者がいない。	・必要があれば対応する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・特になし。	・今後検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・通常の学校生活等でその機会は確保されているため、必要ないと考えている。	・左記内容を継続する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	・特にない。	・時間を取ることが難しい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・連絡帳アプリで随時連絡を取り合っている。	・左記内容を継続する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・保護者同士の勉強会として、テーマを設けた「でこぼこワークショップ」を企画している。	・今年度は実施できなかったため、来年度は実施を目指す。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・主に契約時に説明し、変更等があれば連絡帳アプリで全員に連絡している。	・左記内容を継続する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・保護者には面談時、子どもには利用時に意向を確認している。	・発達段階に応じて、子ども本人との意思確認の機会を増やしたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・保護者との面談後に作成した計画の配布時に、面談時に説明していなかった事項について説明している。	・左記内容を継続する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・必要に応じて、事業所内相談支援を行っている。	・左記内容を継続する。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	0	・家族で参加できる家族レクを実施していた。	・今年度は実施できなかったため、来年度は実施を目指す。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・児発管が責任者として対応している。	・左記内容を継続する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・Instagramで広報誌の公開と日々の活動の情報発信を行っている。	・左記内容を継続する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人情報が含まれた書類については、鍵付きのキャビネットにて保管している。	・左記内容を継続する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・ことばによるコミュニケーションがとれない利用者はいないが、言語発達の程度に応じた分かりやすい説明を心掛けている。 ・視覚障害のある利用者に対しては、掲示の内容や制作物の説明などを、口頭で丁寧に行っている。	・左記内容を継続する。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・小規模な事業所であり、地域住民を招待するような行事は行ってないが、地域の行事には参加している。	・左記内容を継続する。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・連絡帳アプリを使って周知を行っている。	・来年度は保護者への周知を徹底する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・年に2回、主に地震を想定した避難訓練を行っている。	・左記内容を継続する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・契約時の「基本情報シート」で確認している。	・状況は変化するため、定期的な情報収集を行う必要がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・特になし。	・「いいえ」との回答は、指示書がある利用者がいないため。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・年間研修計画で研修を行っている。	・左記内容を継続する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・緊急時の対応や連絡先については、毎年保護者に確認を行っている。	・左記内容を継続することに加えて、安全計画の周知を図る。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・毎朝の打ち合わせで共有、検討している。	・左記内容を継続する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	・義務づけられた対応を行っている。これまでに虐待事例はないと認識している。	・左記内容を継続し、引き続き虐待のない事業所を目指す。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・拘束が必要となる可能性がある場合は、同意書を得ている。	・左記内容を継続する。	